



挑戦

イノベーションに 取り組む三重企業

▷ 52

尾鍋組

土木工事業の尾鍋組は、三重大学と連携し、地盤改良工事の新たな工

業容を拡大した。07年に、砕石の地盤改良工事の新たな工良の新技术「エコジオ工法」を開発した。同工法は、コンクリートやアスファルトなどの小規模店舗や一般住宅向けの地盤改良技術だ。

法の開発に取り組んできた。創業は1962年。創業者の尾鍋禮治会長が、土木工事業を開始。2003年には砕石を使用し、地盤改良工事を始め、



尾鍋哲也社長



エコジオ工法による地盤改良工事の様子

<会社概要> 本社は松阪市飯高町宮前321の4。創業は1962年。代表電話は0598・46・0234。2018年3月期の売上高は約7億円。従業員数は14人。

産学連携で地盤改良の新技术

法を三重大と共同で開発。同工法は、コンクリートやアスファルトなどの小規模店舗や一般住宅向けの地盤改良技術だ。

知名度向上を目指す

筒「EGケーシング」で穴を開ける。筒に砕石を流し込み押し固めることで、周囲の土砂が混ざらずより強い地盤をつくることができる。尾鍋組は、全国の51施工代理店と契約を結んでいる。エコジオ工法に必要な装置や管理ソフト、営業ノウハウを提供。同工法による地盤改良工事は、18年3月末で累計8915件に上る。尾鍋哲也社長は「現在、エコジオ工法が活用されているのは、年間に施工される砕石の地盤改良工事の1・5%程度だ。知名度を向上させ、将来的に3割を占めるようにしたい」と話している。